

経営比較分析表（令和6年度決算）

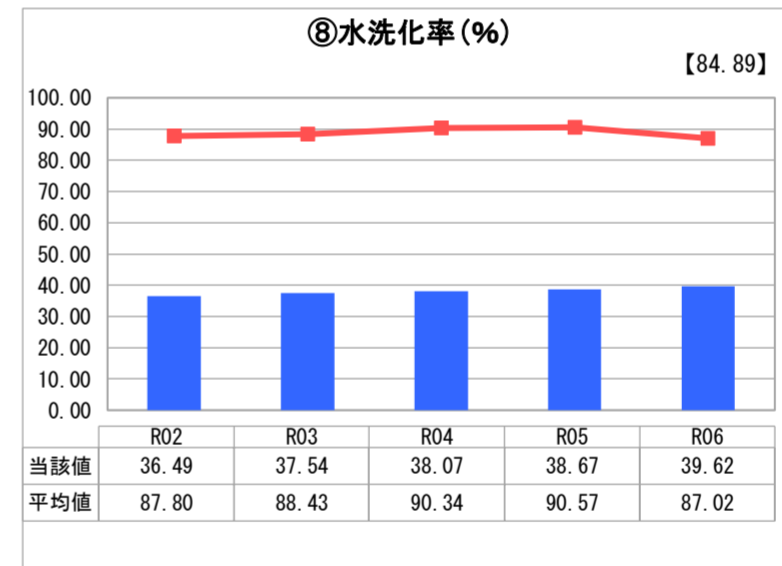
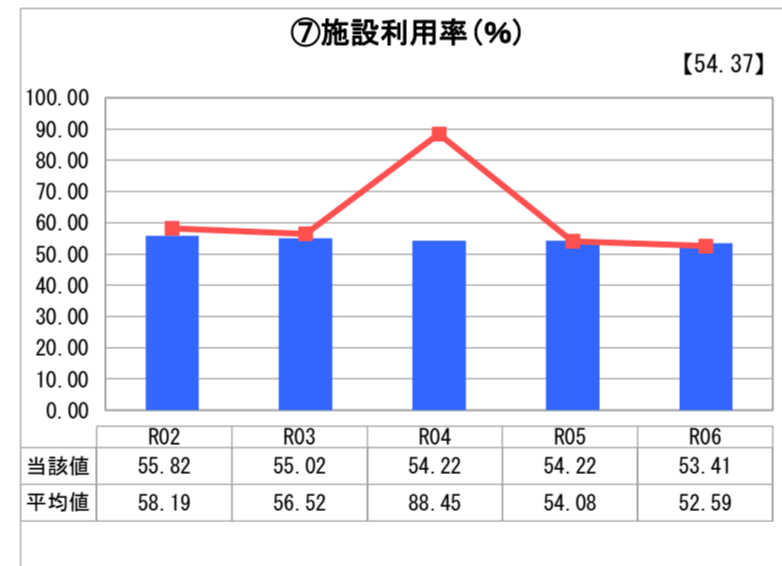
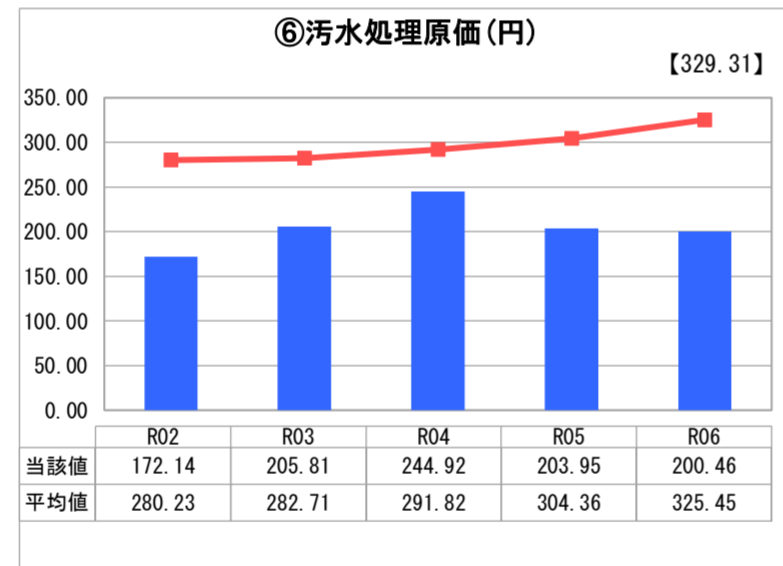
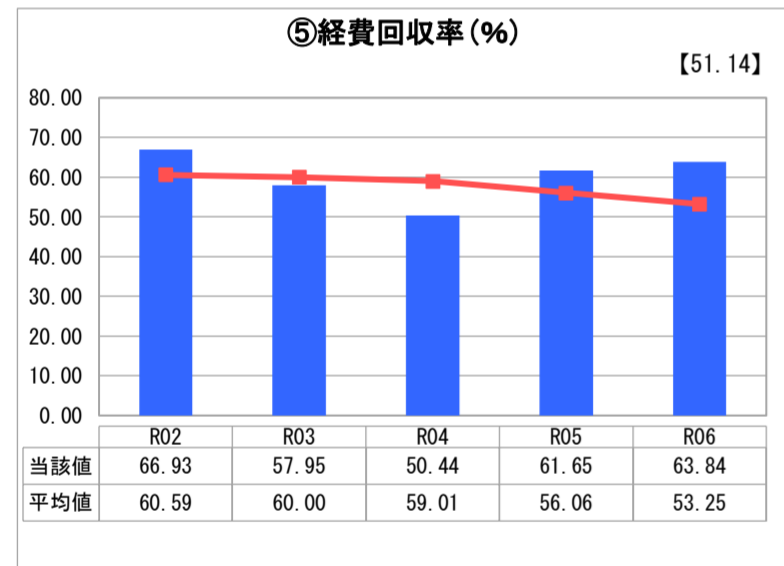
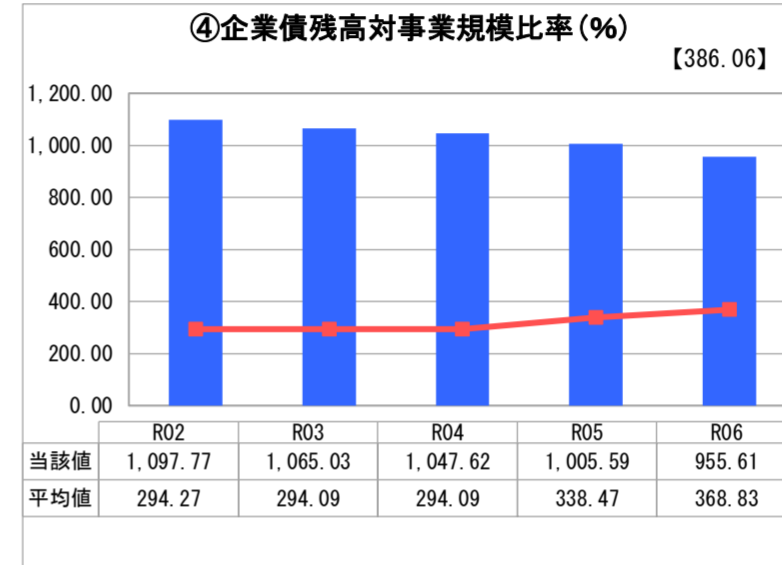
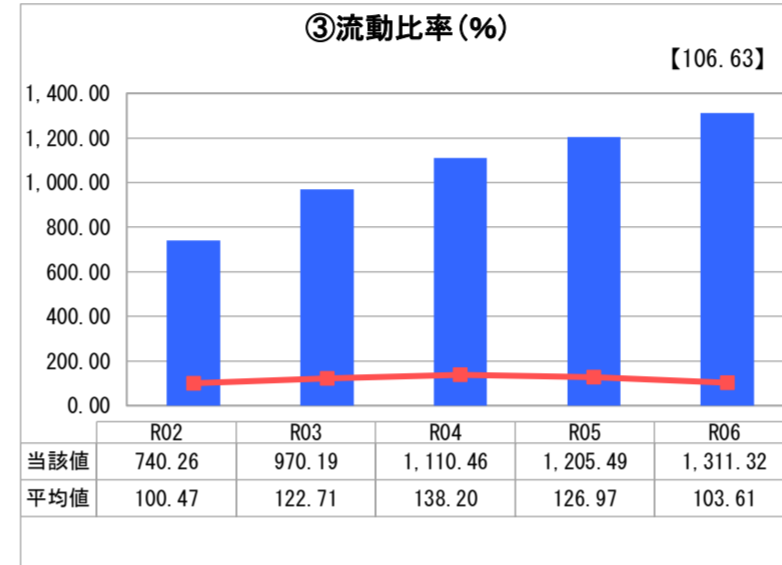
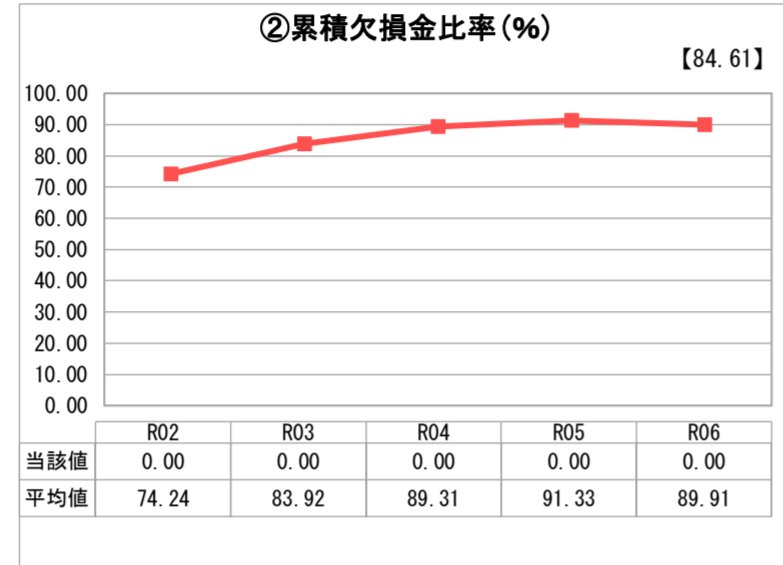
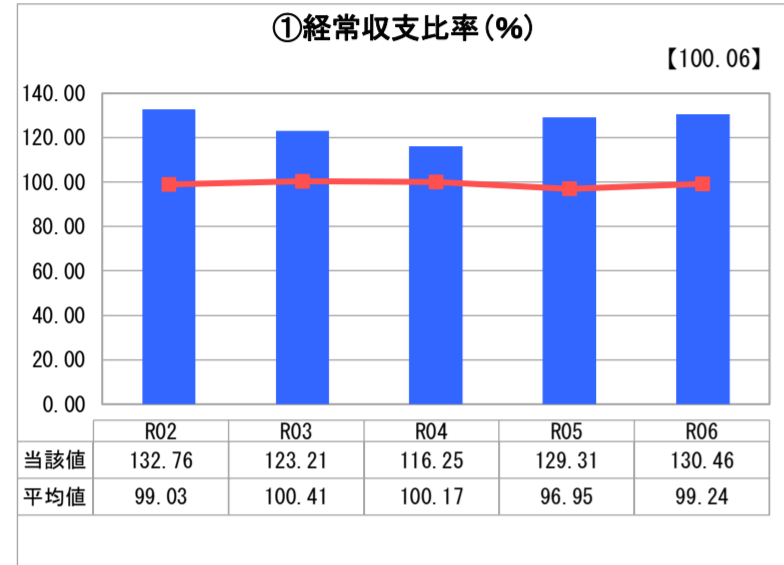
岩手県 金ケ崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.23	11.31	100.00	2,640

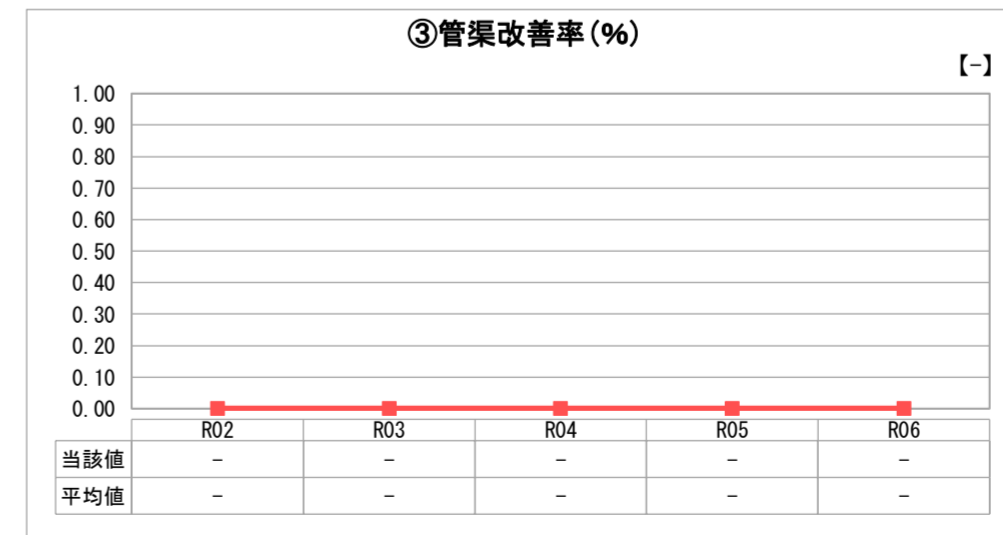
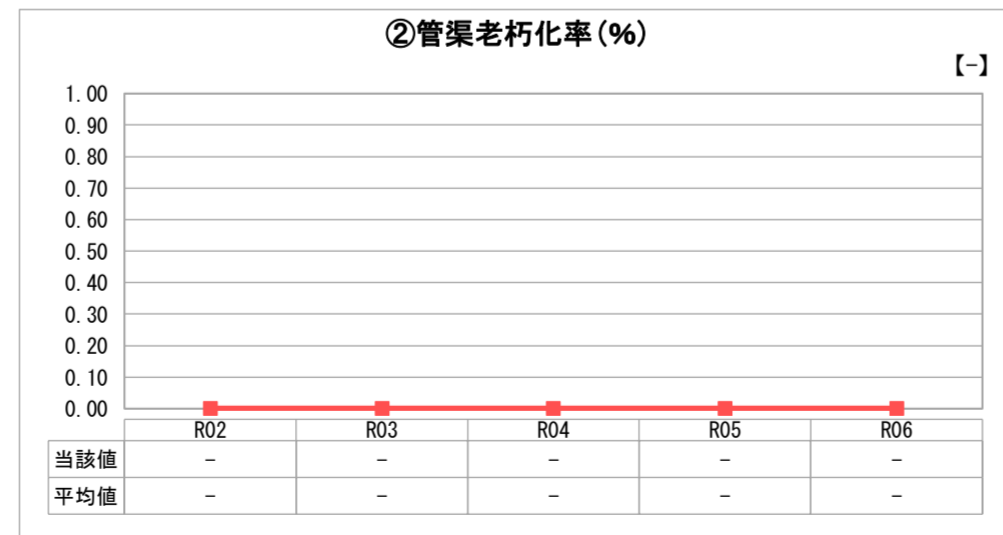
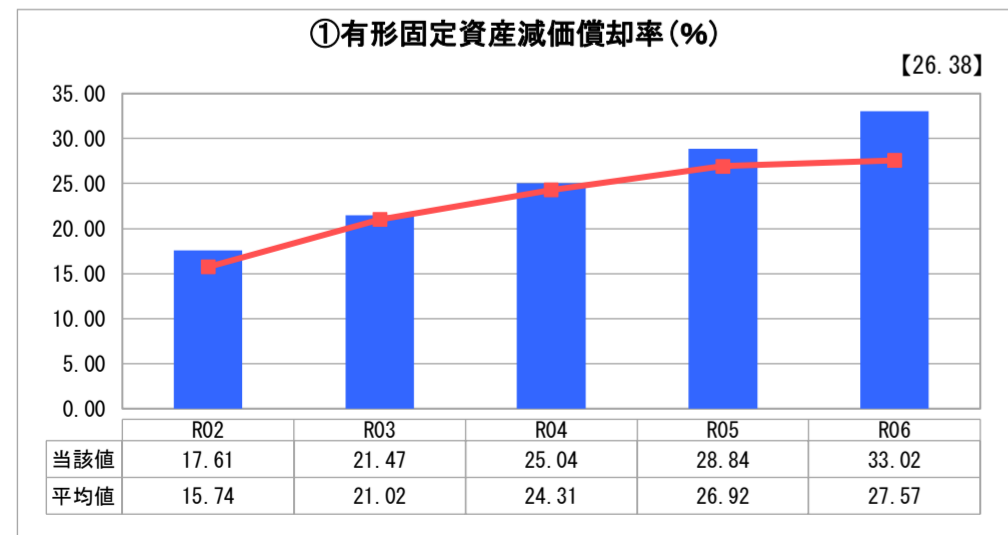
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,119	179.76	84.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,706	45.40	37.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
120~130%程度で推移しているものの、使用料収入を超える繰入金により収支の均衡を図っている。
- ② 流動比率
類似団体平均を大きく上回ったものの、繰入金により企業債元金償還を行っている状況である。
- ③ 流動比率
類似団体平均を大きく上回ったものの、繰入金により企業債元金償還を行っている状況である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
令和2年度の使用料改定により、改善はみられるものの、使用料設定が低い比率が高くなっている。
- ⑤ 経費回収率
類似団体平均を上回ったものの、60%程度となっていることから、適切な使用料の設定が必要である。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体平均より低いが、今後、老朽化に伴う、修繕費用の増が見込まれる。
- ⑧ 水洗化率
類似団体平均を下回っているが、未水洗化世帯は高齢者世帯が多く、浄化槽設置の希望も少ないため、大きな伸びは期待できない。

2. 老朽化の状況について

平成16年度から整備を開始し、平成20年度までの5か年の整備基数が114基と全223基の半数以上を占めている。老朽化に伴い、更新が増加していくと見込まれることから、更新計画を策定し、更新時期の標準化を図る必要がある。

全体総括

使用料収入のみでは、企業債の償還財源が不足することから、多額の一般会計繰入金により、収支均衡を図っている。
「金ケ崎町下水道事業中期経営計画」に基づき、令和2年4月に料金改定を実施したところ、一部指標の改善傾向がみられる。
物価高騰に伴う汚水処理費用の増加や、施設の経年によるプロワ等の修繕の増加により、営業収支の悪化が見込まれることから、汚水処理原価を適切に回収できるような使用料としていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。